



奉祝平成29年明治天皇御親祭150年祭
未来につなげるまつりの心

氷川神社
社報 第三号

武蔵一宮



例 祭

本年は畏き通りより勅使として筑波和俊掌典の御差遣を頂き楽師により東游（学まがら）の奉奏を頂きました。これは明治天皇が祭政一致の詔でお示しになられて以降、嘉例として行われております。神社本庁統理御名代に神社本庁総長の清水八幡宮田中恆清宮司、また埼玉県神社庁庁長の三峯神社中山高嶺宮司はじめ県内神職、氏子総代、崇敬者約三百二十名の御参列の中、午前十時より厳肅に行われ皇室の弥栄と氏子崇敬者の幸福が祈念されました。



勅使齋館より御本殿へと勅使参進時には奉迎のため、各町内の山車神輿約四十基が揃いました。奉迎が終わると山車神輿は各町内に帰り大宮の町は終日お祭り賑わいます。



東 游

古代、東国で行われていた風俗舞で、後に神事に用いられるようになりました。序曲（いちだた）の一歌、二歌（にうた）、舞を伴う駿河歌（うた）、求子歌（もあごうた）からなり、歌人と伴奏楽器として和琴、高麗笛、箏、笏拍子がつきます。舞人は青摺（あおずり）の小忌衣（おみぎぬ）に帯刀、巻纓（けんえい）の冠（かぶ）に桜や橘など時期の花を挿します。舞は安閑天皇の御代、有渡浜（うりわたら）（現在の美保の松原）に天女が舞い降りた姿を模したと伝えられています。



神幸祭

八月二日神幸祭が斎行されました。古くは旧暦六月十五日に行われておりましたが明治の御代の例祭日変更に伴い現行の八月二日となりました。祭典中に雨が上がった為、渡御を行いつつ午後六時半に終了致しました。橋上祭では特殊神饌として小麦ごはんや直酒、鱧の干物等を始め十七台の神饌をお供えし、齋場で直会まで行う珍しい祭典です。神輿などの担ぎ手となる輿丁に旧神領地の六町内(堀の内、土手、大成、上落合、新開、東大成)と氏子青年会あわせ約百名の方に御奉仕頂き斎行されました。



渡御

神幸祭はまず本殿にて御神霊を神輿にお遷しし、渡御、橋上祭(本年は舞殿での祭典)を執り行いました。その後、三の鳥居まで進み神池の東を周り本殿へと還御致します。祭員の他、威儀物を捧持する者、雅楽を奏する伶人等、輿丁を含め約百六十名の御列となりました。御列は左図の通りです。

前駆
切麻
大榊
太鼓
小太鼓

大鉦(月)	大鉦(日)
小鉦(三星)	小鉦(七星)
小旗	小旗
小旗	小旗
月輪大旗	日輪大旗
小旗	小旗
伶人	伶人
伶人	伶人
伶人	伶人
御弓	御弓
御胡籥	御胡籥
御鉦	御鉦
御楯	御楯
大麻	御剣
御剣	紫御翳
紫御翳	御前
御前	副従
副従	御神輿
副従	副従
副従	副従
管御翳	管御翳
宮司	祭員
祭員	神楽師
神楽師	参列員
参列員	

社頭往来

さいたま市職場体験

七月四日～六日までさいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」でさいたま市立大宮北中学校の生徒二名を、同じく七月十日～十二日までさいたま市立大成中学校の生徒二名を受け入れました。境内清掃や御札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を奉奏頂きました。



例祭前清掃奉仕

七月二十六日午前九時より例祭を前に神域内の清掃が持ち回りの当番町である新開、上落合の氏子、奉仕団体の敬神婦人会、氏子青年会、神社関係団体の八雲睦会、解脱会の皆様により行われました。朝からの雨により参道清掃は中止となり拝殿や廻廊、勅使齋館等の清掃を実施致しました。



助勤説明会

平成三十年正月に御奉仕頂く助勤奉仕の希望者に向け説明会

を実施致しました。一日から七日までで男子約四十名、女子約百三十名募集の予定です。八月二十七日に第一回説明会、九月十八日に第二回説明会、十月九日に第三回説明会が行われました。



婚礼展示会

八月二十七日午後一時より四時まで氷川神社呉竹荘において婚礼展示会が開催されました。婚礼衣装や引出物の展示の他、写真や動画撮影の相談などを承り、約三十八組の方々の方々の御来場を頂きました。



日像旗 月像旗御奉納

明治天皇御親祭百五十年を奉祝し、敬神婦人会並びに氏子青年会の皆様により御拝殿の日像旗、月像旗が新調奉納され、その奉告祭が十月九日に執り行われました。御篤志に衷心より御礼申し上げます。



未来につなげるまつりの心

明治天皇は慶応四年（一八六八）八月に第百二十二代天皇として御即位後、十月十三日に江戸城に御入城、新たに東京が都となりました。さらに同月十七日には氷川神社を武蔵の国の鎮守勅祭の社と定めた勅書を発せられました。この勅書は中世以降の政道の衰えを敬神崇祖の精神に基づいた道に復する事を明らかにされている為「祭政一致の詔」とも申します。これはおよそ千年前に桓武天皇が都を平安京にお遷しになられた際に山城の国の鎮守であった加茂社を篤く信仰された御例に因られたものです。迫りくる危機的な国際情勢の中、明治天皇は新時代を切り開くにあたりその御決意を氷川神社の御神前で御親祭を執り行う形でお示しになりました。御入城後わずか十五日後の十月二十八日の事です。明治天皇の私心の無い大御心は受け継がれ、先の大震災の折には今上陛下のお姿に国民等しく感動致しました。明治天皇の御事績を語り継ぐ事は国家の安寧と国民の幸せを祈り、一人一人が我が国を良くしていく決意を再確認する事に他ありません。

奉 祝 祭

御親祭百五十年大祭 奉告祭

十月二十一日（土） 午前十時
参列不可

御親祭百五十年大祭 氏子崇敬者祭

十月二十七日（金） 午前十時
氏子総代、副総代、世話人、敬神婦人会、氏子青年会、献花会、八雲睦会、七里敬神講社役員 計約四百名の参列があります

御親祭百五十年大祭 本祭

十月二十八日（土） 午前十時
神社本庁総理、埼玉県神社庁長、氏子総代会長他責任役員、県内神職、他来賓計約四百名の参列があります

御親祭百五十年大祭 後祭

十月二十九日（日） 午前九時
参列不可

※各祭典日とも御祈禱は通常通り当日受付で行いますが、駐車場の不足や周辺道路の混雑が予想されますので御注意下さい。

御親祭百五十年奉祝行事



九月二十七日～
十一月末まで
八重垣会提灯奉納

十月 十五日
奥氷川神社獅子舞



十月二十一日
大宮華道連盟献華式
(二十三日まで)
廻廊展示



十月二十七日～
十一月十五日
武蔵菊花会菊花展
※日程が十月二十七日
からとなりました



御親祭百五十年奉祝行事

吟道奉賛会

九月十日午前九時、日本吟道奉賛会により第四十二回吟詠剣詩舞奉納大会が行われました。午前は舞殿にて三十九番を、午後は呉竹荘にて七十四番の明治天皇の御製朗詠等会員約百名による詩吟の奉納を頂きました。



すずき鼓友会

九月十七日午後五時、すずき鼓友会の方々により太鼓パフォーマンズが奉納されました。総勢十一名によりエポリユーシヨ

ン、八丈太鼓、ドラゴン、ぶち合せ、フェスタ、豊年太鼓が演奏されました。



豊前神楽

九月十七日午後六時、舞殿にて福岡県豊前市鎮座囃吹八幡神社社中の山内神楽講により豊前神楽が奉納されました。豊前神楽は国指定無形民俗文化財で旧豊前國の伝統芸能です。奉納された演目は伝承されている

三十三番のうちの盆神楽、三神、御先神楽です。



表千家献茶式

九月二十三日午前十一時、表千家同門会埼玉支部による献茶式が執り行われました。当社境内の御神水で湯を沸かし、三木町宣行宗匠の御奉仕にて神前に奉納されました。本年は御親祭奉祝記念として第六十一回神宮式年遷宮の折に下賜された古材での三方や八雲神紋茶碗や八角盆、お茶を点てる際の御神水を入れる桶、宮司旧家の煤竹を用いた茶杓が作製され執り行われました。



**無双直伝英信流居合兵法
阿字会奉納演武**

九月二十四日午前十時、舞殿にて無双直伝英信流居合兵法阿字会第二代宗家井本忠昭阿司齋はじめ八名による奉納演武がございました。境内の稲荷神社近くに建つ「居合道一の宮流」の顕彰碑にある一の宮流は英信流の流れにあります。



**無外真伝無外流居合道
日心会奉納演武**

九月二十四日午後一時、舞殿にて無外真伝無外流居合道日心会の松澤功雲会長はじめ八名に

よる奉納演武がございました。舞殿にて模擬刀による形、木刀による組太刀の演武があり、西廻廊前にて巻藁の試斬がございました。



八重垣会提灯奉納

九月二十七日午後五時、八重垣会により提灯点灯式が行われました。武蔵野銀行加藤頭取、さいたま商工会議所佐伯会頭はじめ約百五十名の御参集を頂きました。参道にかけられた提灯は約千五百張で期間は十一月末までの予定です。提灯の奉納を御

希望の方や御質問等は八重垣会事務局(清水園)〇四八六四三一二三四)までお願い致します。



埼玉県茶道協会秋の茶会

埼玉県茶道協会による秋の茶会が九月三十日勅使館及び呉竹荘にて開催されました。当日はさいたま市長をはじめ約四百名の参加者で賑いました。

**大宮武林会居合道杖道
奉納演武**

九月三十日午前十時、舞殿にて大宮武林会による居合道杖道の奉納演武がございました。和久井清居合道部長はじめ十二名により居合道と杖道の奉納がございました。



記念碑建立事業奉賛者御芳名 平成二十九年六月〜平成二十九年八月

奉賛金の受付を開始して以降、多くの御篤志を頂戴致しております。ここに皆様の御芳名を御紹介し感謝を申し上げます。

※申込順、敬称略、お名前等の誤りがございましたら御容赦願います。

法人

- 一千万円 普門院
- 百万円 株式会社サンベルクス
- 五十万円 株式会社花徳 鈴木 秀夫
- 五十万円 有限会社ロワイヤル 金杉 和秋
- 三十万円 株式会社上藤工業
- 二十万円 玉村八幡宮
- 十万円 株式会社開成コーポレーション
- 新開氏子会
- 宮ヶ谷塔氏子総代会
- まごころクリーニングわが
- 水川神社献花会一同
- 宗教法人風渡野天神社保存会
- 有限会社志延舎
- 株式会社芦川産業

個人

- 十万円 小深作神明神社
- 十万円 パイオランドホテル
- 十万円 宗教法人解脱会 大宮土呂支部
- 株式会社
- 株式会社 大宮スイミングスクール
- 株式会社日本内外旅行
- 水川鋏神社
- 春日部八幡神社
- 有限会社磯部緑化総業
- 中山神社氏子一同
- たかはな電気株式会社
- 有限会社シンタケ
- 三万円 書元会
- 一万円 株式会社ムクダ
- 七十万円 大千里智恵子
- 五十万円 近藤 武夫
- 五十万円 都筑 僕吉
- 薄田 守利
- 森住 和史
- 増田 勝巳
- 四十万円 星野 豊
- 四十万円 星野 憲子
- 星野 秀敏
- 中山 高明
- 町田 太一
- 金尾 正
- 秋山 悦男
- 奥富 雅雄
- 高田 健
- 杉本 通
- 松下 敏子
- 十万円 飯島 弘昭
- 十万円 佐藤 信雄
- 白田 利亮
- 近藤 敏夫
- 谷口 隆茂
- 川名 恵美
- 宮下 忠芳
- 宮下 伸美
- 秋山 博
- 杉本 幸子
- 杉本喜一郎
- 御正 隆信
- 坂井 正人
- 七万円 岡崎 秀和
- 磯部 博夫
- 吉田 一二
- 牛久保興子
- 十万円 加藤きく子
- 原田 和夫
- 岩井 隆興
- 熊木美津江
- 風間 清介
- 杉山 祐賢
- 宮下 忠芳
- 宮下 伸美
- 秋山 博
- 杉本 幸子
- 杉本喜一郎
- 御正 隆信
- 坂井 正人
- 七万円 岡崎 秀和
- 磯部 博夫
- 吉田 一二
- 牛久保興子
- 五万円 城山 邦紀
- 杉村志保子
- 山下 実
- 小山田滋郎
- 加藤 隆榮
- 関川 昌子
- 宮口 静枝
- 齋藤 昌子
- 齋藤 潤
- 大久保晴生
- 伊藤 義直
- 中川 和徳
- 高岡 晴子
- 菅原 信之
- 齋藤 剛
- 齋藤 美香
- 竹野 徹美
- 上岡 正巳
- 高柳 僚

祭典予定

神嘗祭遙拝式	十月 十七日
神嘗奉祝祭	十月 十七日
朔瓶祭	十月二十一日
月次祭	十一月 一日
明治祭	十一月 三日
献詠祭	十一月 十五日
新嘗祭並敬神講社大祭	十一月二十三日
大湯祭前齋	十一月三十日～十二月九日
大湯祭本祭	十二月 十日
大湯祭後齋並誓詔祭	十二月 十一日
饗膳式	十二月 十一日
献詠祭並煤払式	十二月 十五日
天長祭	十二月二十三日
大祓式	十二月三十一日
除夜祭	十二月三十一日
歳旦祭	一月 一日
日供始祭	一月 二日
元始祭	一月 三日
昭和天皇祭遙拝式	一月 七日
献詠祭並成人祭	一月 十五日

大湯祭

大湯祭は起源不詳ですが三百年以上前の社記に記載がある古いお祭りです。十日の本祭にあわせて市がたつため、十日市とも言います。御米、御酒の他、百味膳、菱餅、海老、長芋、鮒串をお供えます。十日終日、十一日の午前中には宗像神社前にて、大己貴命(大国様)と少彦名命(恵毘須様)の二福神御姿の御神札、木像と福熊手と福財布、また福種銭の授与を致しますので大國市とも言います。福種銭とは古くから続く縁起担ぎでお賽銭(金額は決まっています)の一部分をお祓いした縁起の良いお金と替えて商売の元金とした信仰です。現在では商売をされていない方も繁栄を祈願して受けられています。十一月三十日から十二月九日までが前齋で毎晩午後八時に祭典を行います。

十二月十日には参道に飲食の露店、境内に熊手の露店等が約千軒並び大いに賑わい夜遅くまで手締め之音と掛け声が響きます。翌十一日には後齋があり、饗膳式という古式床しい解齋の儀をもって氷川神社の長い冬の祭典は終了します。



十一月三十日～十二月九日境内のかがり火



福財布(六百元)



福熊手(小・千五百円)



百味膳



前齋 本殿への参進

正式参拝及び諸会議

(敬称略)

七月

三 永職会

四 白羽神社総代会(静岡県)

八 明治神宮崇敬会吉川・松伏支部

九 美鈴紀行

例祭年番会議

十一 福島県神社庁教化部

十二 野村証券大宮支店植樹式

十九 座間神社氏子神親会(神奈川県)

二十六 例祭前清掃奉仕者一同

キッズ時計クラブ

普門院

埼玉県別表社宮司会

九月

一 水川懇談会部会

三 神道天行居

五 岡山県神社総代会

愛媛県神社総代会

全国神社総代会

千葉県神社庁君津支部

山梨県神社総代会

津名郡神社総代会(兵庫県)

越谷久伊豆神社

愛知県神社総代会

香川県神社総代会

茨城県神社総代会

福井県神社総代会

佐賀県神社総代会

武蔵菊花会臨時役員会・大正製薬株式会社

比企郡市総代会松山支部

滋賀県神社庁総代会

クラブツーリズム

吟道奉賛会(奉祝)

比企郡市連合神社子総代会野本支部

すずき鼓友会(奉祝)

豊前神楽(奉祝)

神道政治連盟・埼玉県神道青年会

無双直伝英信流居台兵法阿字会(奉祝)

無外流日心会(奉祝)

敬神講社会議

二十九 埼玉県茶道協会(奉祝)

三十 大宮武林会(奉祝)

全国神社総代会開催

九月六日、埼玉県が当番となつた第五十三回全国神社総代会大会がソニックシティ大ホールで開催されました。大会前に全国神社総代会副会長の國分正明様、神宮の小松揮世久大宮司、神社本庁総長の石清水八幡宮田中恆清宮司、また埼玉県神社庁庁長の中山高嶺三峯神社宮司他約百名で正式参拝を頂きました。会場には全国より二千五百の定員を超える約二千六百名の参加者があり盛会裡に閉会致しました。



奉納献華

七月の奉納献華



古流松藤会 草月流
川嶋理智 冲山草俊
池坊 竹下尚峰
草谷智花 桂古流
小林華悦
高橋典花

八月の奉納献華



古流松藤会
岩波理豊
川嶋理智
池坊
草谷智花
草月流
冲山草俊
桂古流
小林華悦
高橋典花
正風流一光会
桐生一光

九月の奉納献華



古流松藤会
岩波理豊
川嶋理智
池坊
草谷智花
草月流
冲山草俊
竹下尚峰
桂古流
小林華悦
高橋典花
正風流一光会
桐生一光
春草流
栗原春彩

第四号は
平成三十年一月十五日
発行予定です

十二月九日、十日は大湯祭の為、一月一日〜三日は初詣の混雑に付き周辺道路に交通規制が入ります。また駐車場は閉鎖となりますので公共交通機関をご利用下さい。詳しくはホームページにてお知らせ致します。

大湯祭、正月の
駐車場について

境内の整備を
致しました

此度神橋の段差をスロープにし、神橋〜手水舎〜楼門へのバリアフリー通路を造成致しました。また手水舎近くに神池に注ぐ水路と滝を造成致しました。



第41回特別展

氷川神社

— 大いなる宮居の歴史 —

会期 平成29年

9月30日(土)~11月19日(日)

開館時間 9時~16時30分

休業日 祝日を除く月曜日、10月10日(火)、11月7日(火)

さいたま市立博物館

協力：埼玉県立文書館

埼玉県立歴史と民俗の博物館

特別展

「明治天皇と氷川神社
— 行幸の軌跡 —」



氷川神社に隣接する埼玉県立歴史と民俗の博物館にて特別展が開催されます。氷川神社行幸に関する美術品や歴史資料など貴重な品々が展示されますので是非足をお運び頂きますようご案内申し上げます。

期間 平成30年1月2日(火)~
2月12日(月・休)



発行 平成29年10月15日 発行所 氷川神社社務所

写真協力 宮野信昭 中村写真館 印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiyahikawa.or.jp/>